

いずみ

いずみ



ぎょいこう 露の臺と御衣黄と



露は、春まだ浅い野山に残雪のある頃、畦道や藪陰の柔らかい土中から萌黄色の花芽をもたげる。

春に魁けるホロ苦い風味と香りが摘み採った指先からジワッと香り立って、フキノトウではなく『露の臺』だ。

「有機野菜のナントカです。」もいいいけれど、野山に自生する自然の味に、殊の外敏感に反応する、生きた長さに苦笑している。

露の臺は、冬眠から覚めた熊が、覚醒と整腸の意味でイの一番に物色するという。年中眠りかけている私の脳味噌に喝を入れるには、人肌のお酒にこの時季ならではの露の臺味噌が特効薬。

斬新な味を開拓するのも楽しみなのだ



顔を出した露の臺

けれど“味”を深く味わう喜びもある。

早春の野歩きの道々、こんな野生に出会うと『今日一日分の幸せ』とニンマリしてしまう。ましてや、存じ依りからの「春のお使い〜」となれば、束の間の旬の息吹は、うっかりしていたら捕らえられない。

春本番は桜の便り。富士宮の町はあつと言う間に桜色に染まる。

『桜』といえば、誰もが即座に白に近いピンク色、いわゆる“桜色”を思い浮かべるだろうが、中には、これが桜の花？といぶかる変り種もある。

『御衣黄』（ギョイコウ）はその名の通り“貴人の衣服”の色である黄緑、というより緑色の花をつける。この花は葉緑素を含んでいて、葉と同じように光合成を行うことから、花とはいえ、葉が変化したものだという。

お浅間さんの境内の桜が咲き揃う頃、その中に、一際目を引く緑色の桜がある。毎年のことなのに密かにワクワクして待っている。『御衣黄』だと嬉しいのだが・・・。

表富士イベント

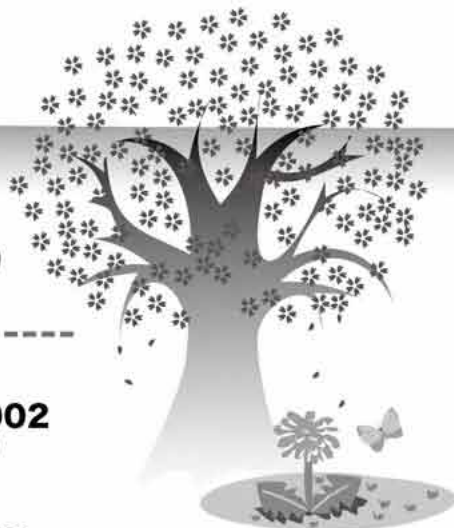
4/3(土)
4(日)

場所：浅間大社

浅間大社桜花祭／表富士燈回廊(4/3) ～浅間大社を桜と灯かりで彩る～

お問い合わせ

(社)富士宮市観光協会 富士山本宮浅間大社
TEL0544-27-5240 TEL0544-27-2002
http://www.fujinomiya.gr.jp http://fuji-hongu.or.jp



4/10(土)
11(日)
10時～16時

場所：狩宿の下馬桜

狩宿 春の菜の花桜まつり

～源頼朝伝説のさくらに想いを馳せ～ 11日はシャトルバスが運行します(¥500)

お問い合わせ

(社)富士宮市観光協会 白糸の滝狩宿下馬桜観光文化事業実行委員会
TEL0544-27-5240 URL http://www.fujinomiya.gr.jp

5/4(火)
5(水)
6(木)
流籠馬式 15時～

場所：浅間大社

やぶさめまつり ～富士山麓に蘇る鎌倉の一大絵巻～

お問い合わせ

(社)富士宮市観光協会 富士山本宮浅間大社
TEL0544-27-5240 TEL0544-27-2002
http://www.fujinomiya.gr.jp http://fuji-hongu.or.jp



4/24(土)
25(日)

表富士 自転車登山競走大会

24(土)・・・受付・富士宮サイクリング(富士山本宮浅間大社)
25(日)・・・ヒルクライムレース(水ヶ塚公園駐車場集合)

コース：全長16.5km/標高差1,200m/平均勾配6.6%(西日塚駐車場～富士スカイライン～富士宮口五合目)
主催：表富士自転車登山競争大会実行委員 共催：富士宮市、(社)富士宮市観光協会、富士宮商工会議所

エントリー(締切：4/5)

TEL 0570-037-846(受付時間/平日10:00～17:30) URL <http://www.sportsentry.ne.jp/>

無料応援バスお申込み(先着50名・事前申込み制)

富士宮市商工観光課(電話orファックスorメールにて「代表者氏名」「乗車人数」「当日の連絡先」をお伝え下さい。)

TEL 0544-22-1155 FAX 0544-22-1385 MAIL shokokanko@city.fujinomiya.shizuoka.jp

詳しくは・・・

URL <http://www.bikenavi.net/> MAIL info@bikenavi.net

にし市の
花まつり
甘茶振る舞い
会場 にしの市会場
日時 4月8日(木)
15:00～夕方頃

4月8日は、お釈迦様の
誕生日(花まつり)。
おかみさんが
甘茶の振る舞いを
実施します。

富士山クラシックカーレビュー in 富士宮

日時：4月11日(日) 10時～15時 / 場所：マイロード本町

1980年以前のクラシックカーの展示。その他、クラシックカーに関するモダンなイベント、生バンド演奏、バルーンアート、飲酒・高齢者の疑似体験による交通安全指導など。※開催内容は若干変更になる場合があります。

お問合せ / 富士宮商工会議所 クラシックカー実行委員会
TEL 0544-26-3101 FAX 0544-26-0303



この人 村野典子さん (芝川町羽鉾)



穏やかで、もの柔らかな立居振舞いに、迎りがポツと華やぐ……

通された居間は、南光が部屋の奥まで差し込んで、和室なのに、テーブル・ソファを設え、大きなサイドボードには、ヴェネチアングラスのコレクションが目を引き。ひとしきり、イタリア旅行の想い出話などで盛り上がり突然の訪問なのに旧知のように心が和む。

ソファを横目に、畳に敷かれた絨毯の上にベタンと座って美味しい日本茶をお招かれ。

その雰囲気は妙にじっくりしていて、思わずウフフ。来意の目的を告げると、一瞬少女のように瞳が輝いて、背筋がピン。

それもその筈、ご正体は、岳南芸能連盟の会長さん。日本舞踊花柳流『梨花の会』の会主、花柳昌梨花さん。

5才から素地のある日舞は、地元高校から東京の大学へ進む間も続き、大学卒業後は、花柳流大幹部の花柳昌太郎さんの内弟子として本格的な精進の日々を3年経て、郷里芝川に根を下ろし、現在の地位を築く。

「小さな子供のうちに伝統芸能を学ばせ邦楽や日舞への関心を呼び覚まし、底辺を広げていく努力をしたい……」と思いを語りまた、自作の“芝川おどり”の普及に努め、富士宮との合併の後は、“宮おどり”とのコラボレーションの夢も……とも。

数々の大舞台を経験した自信と心の豊穡がこの人の凛とした姿勢に表れていた。

実は取材を勧めて、同行もして下さった『いずみ』の男性スタッフ H・S さんの教え子。「幼少時は、とてもお利口さんだがおとなしい、あまり目立つことのない子だったが……」とポツリ。

「先生、うちの娘に良い方、お世話してくださいな。」漏れ聴いた 60 歳のお母さんの本音に、私はホンワカと胸の奥が暖ったかくなってしまった。

おいとまの挨拶の後を追う様に、まだ風の冷たい早春の庭先の陽だまりにシャキッとみごとに和服を着こなして、足元はっつけサンダル。笑顔がはじけた素敵なお会いだった。

K・H

上野酒造めぐり雑感



過日「上野の里まつり」と題して、上野地区に江戸時代から創業を続ける2つの酒蔵「牧野酒造」と「富士正酒造」の蔵開きが行われました。上野地区にとっては初めての催していつも街中の催しを羨ましく思っていた私にとっては、嬉しいかぎりでした。

早速、見学させていただきました。この日はあいにくつめたい風の強いひどく寒い日でしたが、ざっと1000人位の人が集ってすごい賑わいでした。上野の里にとっては、こんな賑わいは初めてのことでなかったかと思います。2つの酒蔵とも日本酒の試飲を初め、ヤキソバ、ニジマス等の出店が処狭しと並び、太鼓のアトラクション等が行われ寒さも忘れていい気分になりました。ぜひこれからも続けていただき、田舎の活性化をも期待するところでもあります。

H・S

八十八夜

“夏も近づく八十八夜
野にも山にも若葉がしげ
る”の茶つみ歌で古くから親しまれている日。季節の一つの区切り目にもあたる。



立春から数えて88日目当たる日を古くから八十八夜と呼んでいる。今の暦では5月1日から2日ごろを言う。この頃は昼の天気はよく暖かいが不安定で「八十八夜の別れ霜」の言葉がある。八十八夜は農家にとっては重要な日である。果樹園や庭造りの人たちにとっても、この日は作業に取り掛かる「一つの目安」になっている。夏の朝を楽しませる「朝顔」の種蒔きなどもちょうど良い時なのです。

H・S